



当社では、原子力災害への対応力向上のため、年間を通して様々な訓練を繰り返して行っています。2月19日(木)には、氷点下の中、地震により再処理工場の電源が喪失したことを想定した訓練を実施しました。寒さで手足が思うように動かさずらい中でも迅速かつ的確に対応できるよう、厳冬期の訓練を積み重ねてまいります。

訓練の様子

ホイールローダを使用したがれき等の撤去



地震により落下したがれきを当社のホイールローダを使用して取り除き、電源車の走行ルートを確認します

電源車のケーブル敷設およびガスタービン運転



工場への電力供給のため、電源ケーブルを敷設します



電源車のガスタービンを起動し、工場へ電力を供給します

どんな過酷な状況にも対応するために

今回初めて厳冬期訓練を経験しましたが、寒さで手がかじかんで思うように作業が行えない部分もありました。これからも地域の皆さまの安心・安全のために万が一の災害時でも状況を問わず対応できるよう経験を積んでまいります。



訓練中

再処理事業部
こいずみ かける
小泉 翔